

HTLV-1 関連肺疾患の病態に関する研究

成人 T 細胞性白血病ウイルス(human T-cell leukemia virus type 1: HTLV-1)は、九州や沖縄に感染者が多く成人 T 細胞性白血病の原因としてよく知られていますが、脊髄に炎症を起こして歩行障害や排尿障害をきたしたり、ブドウ膜炎を引き起こし目がかすむといった症状がでることもあります。また、肺にも病変を形成することが知られていますが、その機序はよくわかっていません。当大学院では、気管支鏡検査で得られたデータを解析し、肺病変の発症機序に関する研究を行っております。個人情報は一切伏せられた形で行われます。

研究対象者：肺病変を有し、診断もしくは治療に必要なため当院で気管支鏡検査を施行した方で、HTLV-1 ウィルス陽性で成人 T 細胞性白血病を発症していない方。また、比較対象として、当院で気管支鏡検査を施行した方で HTLV-1 陰性であり気管支鏡検査の結果、明らかな炎症性疾患や腫瘍性病変が確認されなかった方。

研究方法：気管支鏡検査同意書のもと気管支鏡検査を施行した患者の気管支肺胞洗浄液を使用する。気管支肺胞洗浄液中細胞で遺伝子発現を検討し、肺胞洗浄液上清でサイトカインの発現を検討する。

研究期間：1993 年から 2010 年の間に得られた検体でレトロスペクティブに検討を行う。

本研究について、ご質問やご不明な点などがあれば下記までご連絡下さい。

連絡先：098-895-1144 メールアドレス: yukomatu1010@yahoo.co.jp

代表者名：名嘉山裕子、屋良さとみ、感染症・呼吸器・消化器内科学教授 藤田次郎

同意書への追加①

成人 T 細胞性白血病ウイルス(human T-cell leukemia virus type 1: HTLV-1)は、九州や沖縄に感染者が多く成人 T 細胞性白血病の原因としてよく知られていますが、脊髄に炎症を起こして歩行障害や排尿障害をきたしたり、ブドウ膜炎を引き起こし目がかすむといった症状がでることもあります。また、肺にも病変を形成することが知られていますが、その機序はよくわかっていません。当大学院では、気管支鏡検査で得られたデータを解析し、肺病変の発症機序に関する研究を行っております。今回の検査で採取された組織等(TBLB・BAL 検体、気管支洗浄液など)を HTLV-1 関連肺疾患の病因解明・治療法開発のために使用いたします。個人情報は伏せられた形で研究を行います。

研究内容や検体の取り扱いについてのご質問や疑問がございましたら、下記までご連絡下さい。また、当科ホームページにも内容が記載されております。

ホームページアドレス：

連絡先：098-895-1414

代表者名：名嘉山裕子、屋良さとみ

同意書への追加②

当科では、九州や沖縄に感染者が多いと言われる成人 T 細胞性白血病ウイルスによる肺疾患について研究を行っています。今回の検査で採取された組織等(TBLB・BAL 検体、気管支洗浄液など)を研究のために使用いたします。個人情報は一切伏せられた形で研究を行います。研究内容や検体の取り扱いについてご質問や疑問がございましたら、下記までご連絡ください。当科ホームページにも内容が記載されております。

ホームページアドレス：

連絡先：098-895-1144

代表者名：名嘉山裕子、屋良さとみ

同意書への追加③

当科では成人 T 細胞性白血病ウイルスによる肺疾患について研究をしており、今回の検査で採取された組織等(TBLB・BAL 検体、気管支洗浄液など)を研究のために使用します。研究内容や検体の取り扱いについてご質問や疑問がございましたら、下記までご連絡ください。当科ホームページにも内容が記載されております。

ホームページアドレス：

連絡先：098-895-1414

代表者名：名嘉山裕子、屋良さとみ